

令和3年4月20日



株式会社ゆで太郎システム 御中

ゆで太郎夢基金

令和2年度充当報告及び令和3年度充当計画案

<累計寄付総額 99,536,247円⇒令和3年4月にて累計1億円達成！！>



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

寄せられた寄付金 累計17,608,742円(令和3年3月末現在)

法人名	寄付日	寄付額(円)
株式会社ゆで太郎システム	令和2年4月8日	1,497,854
株式会社ゆで太郎システム	令和2年5月13日	1,089,597
株式会社ゆで太郎システム	令和2年6月10日	1,144,974
コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社	令和2年6月19日	39,874
セイブショウジ株式会社	令和2年6月30日	1,962
セントフーズ株式会社(ゆで太郎東北地区本部)	令和2年6月30日	351,372
サントリービバレッジサービス株式会社	令和2年6月30日	45,136
株式会社ゆで太郎システム	令和2年7月10日	1,428,712
株式会社ゆで太郎システム	令和2年8月11日	1,459,907
株式会社ゆで太郎システム	令和2年9月10日	1,528,529
株式会社ゆで太郎システム	令和2年10月7日	1,434,003
株式会社オリエンタル商事	令和2年10月20日	1,072
株式会社ゆで太郎システム	令和2年11月11日	1,479,514
株式会社オリエンタル商事	令和2年11月20日	933

法人名	寄付日	寄付額(円)
株式会社ゆで太郎システム	令和2年12月8日	1,627,845
コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社	令和2年12月18日	55,343
株式会社オリエンタル商事	令和2年12月18日	840
株式会社ベネフレックス	令和2年12月18日	2,271
セイブショウジ株式会社	令和2年12月28日	4,783
サントリービバレッジサービス株式会社	令和2年12月30日	56,432
セントフーズ株式会社(ゆで太郎東北地区本部)	令和2年12月30日	435,628
株式会社ゆで太郎システム	令和3年1月8日	1,586,333
株式会社ゆで太郎システム	令和3年2月12日	1,142,948
株式会社ゆで太郎システム	令和3年3月11日	1,192,880

令和2年度 ゆで太郎夢基金による充当事業

事業分野	充当事業	充当金額
国内災害救護事業	①災害対応 (令和2年7月豪雨)	5,608,742円
	②新型コロナウイルス感染症対策	4,000,000円
	③地域防災セミナーの開催	4,000,000円
青少年赤十字事業	④教育現場での防災教育の普及	2,000,000円
社会福祉事業	⑤社会福祉施設の資機材整備	2,000,000円
合 計		17,608,742円

各充当事業の内容は、次ページ以降をご参照ください。

夢基金を次の事業に充当させていただきました。

■ 国内災害救護事業

① 災害対応(令和2年7月豪雨災害)

令和2年7月の豪雨災害に対して、本社災害対策本部の指揮の下、医療チーム等を現地に派遣して被災された方の救護にあたるとともに、救援物資のマッチング調整・配布、義援金の受付等による支援を行いました。

新型コロナウイルス感染症対策に十分配慮しながらの活動となりました。



豪雨後の人吉市内の様子(熊本県)



猛暑の中、感染症対策のためマスク・グローブをして被災された方の診療を行う医師(熊本県)

夢基金を次の事業に充当させていただきました。

■ 国内災害救護事業

②新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症まん延状況下における国内の災害救護活動において、感染防止に必要な防護具(マスク、フェイスシールド他)を整備させていただきました。



フェイスシールド



マスクを着けて人吉市の避難所を巡回(熊本県)

夢基金を次の事業に充当させていただきました。

■ 国内災害救護事業

③地域防災セミナーの開催

災害が起こった後だけでなく、起こる前の防災・減災にも注力すべく、地域コミュニティにおける「自助」と「共助」の力を高める防災セミナーを全国で開催しています。
今年度は、開催見送り、または三密回避・感染拡大防止対策をして開催いたしました。



「自助」「共助」の大切さを学ぶ



ソーシャルディスタンスをとって、
マスクを着用してのセミナー開催

夢基金を次の事業に充当させていただきました。

■ 青少年赤十字事業

④教育現場での防災教育の普及

日本赤十字社が提供した防災教材を、学校教育と組み合わせて普及してもらうことで、防災意識の定着を図り、身近で災害が発生した際にすぐに活かせるスキルや考え方を伝えています。

今年度は、各地の教育現場で、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を防災の取り組みに交えた様々な工夫が見られました。



近年多発する風水害の防災を学ぶ
小学5年生(宮崎県串間市)

新型コロナウイルス感染症対策として
市民体育館でスペースを確保して、
マスクを着用して実施

夢基金を次の事業に充当させていただきました。

■ 社会福祉事業

⑤ 社会福祉施設の資機材整備

日本赤十字社総合福祉センター(通称:レクロス)の資機材を整備するために使わせていただきます。

本年度は浴室用リフト1セットを整備したほか、車椅子20台を整備いたしました。

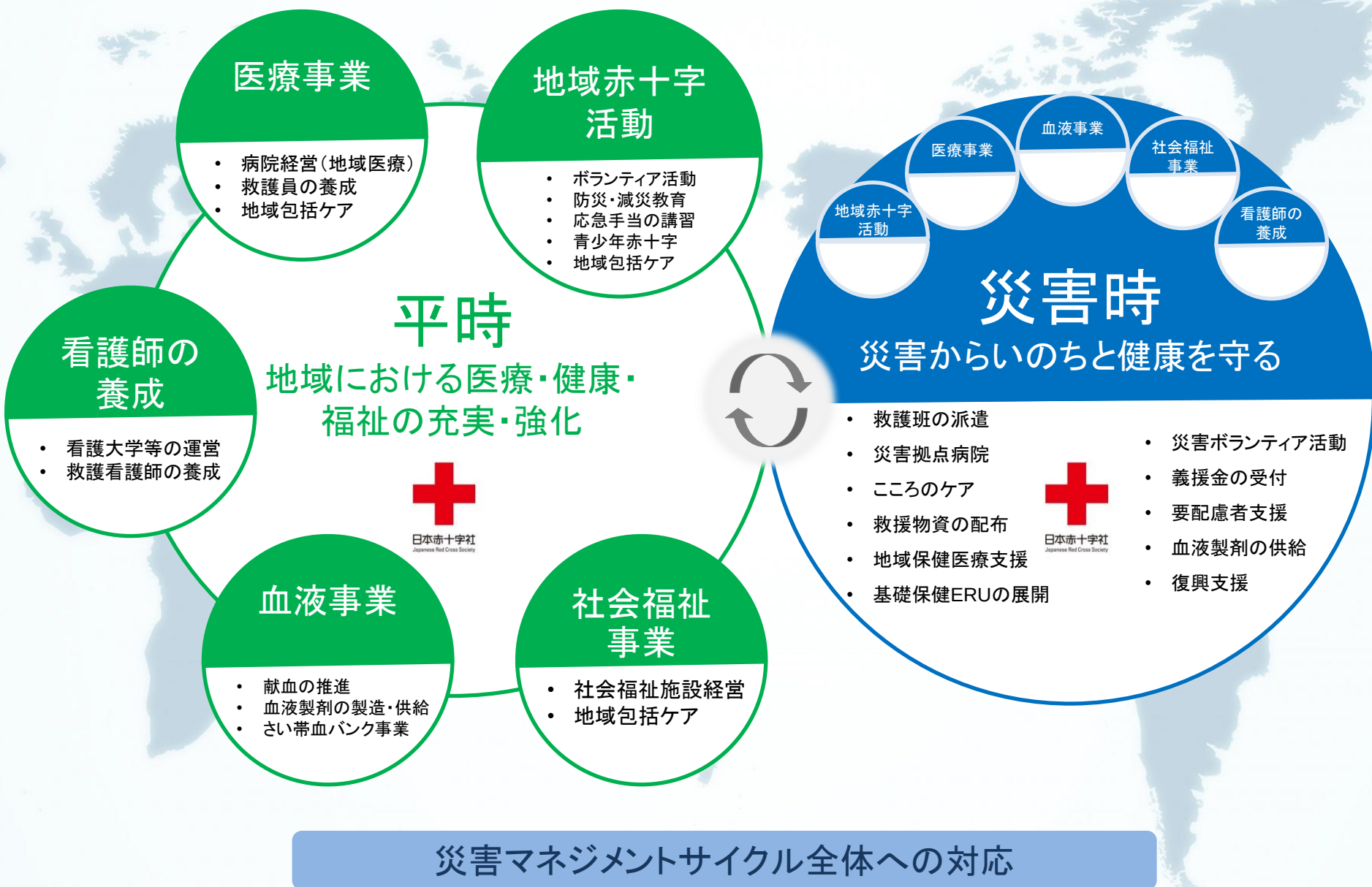


レクロスの特別養護老人ホームに整備された車椅子

令和3年度 充当計画(案)

事業分野	充当事業	充当金額
国内災害救護事業	①災害対応	6,000,000円
	②医療チーム【救護班】の養成	4,000,000円
	③地域防災セミナーの開催	2,000,000円
講習普及事業	④救急法等講習普及事業	2,000,000円
青少年赤十字事業	⑤教育現場での防災教育の普及	2,000,000円
社会福祉事業	⑥社会福祉施設の資機材整備	2,000,000円
	合計	18,000,000円

【ご参考】日本赤十字社の事業の全体像



災害時の支援の充実とレジリエンスの強化

■自然災害の頻発化・激甚化・広域化

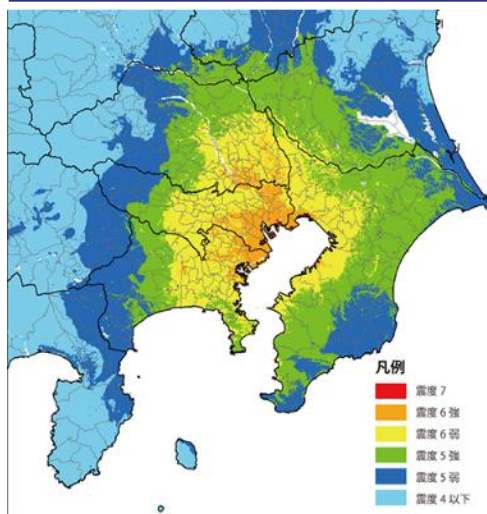
■今後30年以内の発生確率が70～80%と切迫する
首都直下地震や南海トラフ地震等

■社会形態の変化に伴う地域コミュニティの衰退

⇒ニーズに応じて迅速な災害対応

また、そのための備え、防災教育（地域コミュニティーや教育現場）

首都直下地震



東京、神奈川、
千葉、埼玉
など

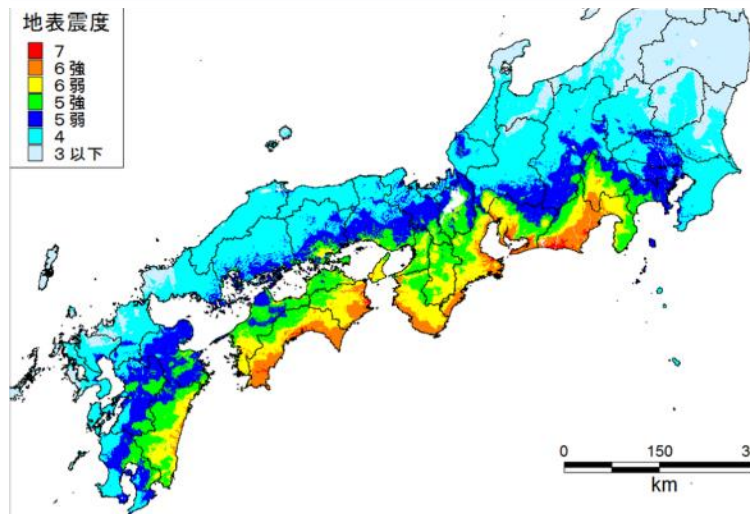
死者数

約2万3千人

避難者数

約720万人

南海トラフ地震



静岡、愛知、
三重、和歌山、
高知 など

死者数

約32万3千人

避難者数

約500万人

出所：内閣府(防災担当)ホームページより日本赤十字社作成(数値は予測される最大値)

レクロスは、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、認知症高齢者グループホーム、障害者支援施設及び各種在宅サービスを展開する複合的な福祉施設です。

⇒一人ひとりの状態と目標に応じて細やかな支援サービスを提供

日本赤十字社総合福祉センター レクロス広尾

日本赤十字社の使命

私たちは、苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、いかなる状況下でも、人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

日本赤十字社総合福祉センターの基本理念

赤十字の基本原則である「人道」の精神にのっとり、人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

日本赤十字社総合福祉センターの運営基本方針

- [1] 一人ひとりを大切にし、利用者の視点に立った安心・安全なサービスを提供します。
- [2] 家族・地域社会との連携を図り、地域福祉の向上に努めます。
- [3] 保健、医療、看護、福祉の各種サービスの一体的な提供に努めます。

「レクロス広尾」は、「赤十字」の英訳である Red Cross (レッドクロス) を略して、Re(レ)と Cross(クロス) で「レクロス」となりました。
(レ)は再建、(クロス)は「お役に立ちたい」という意味を含んでいます。

